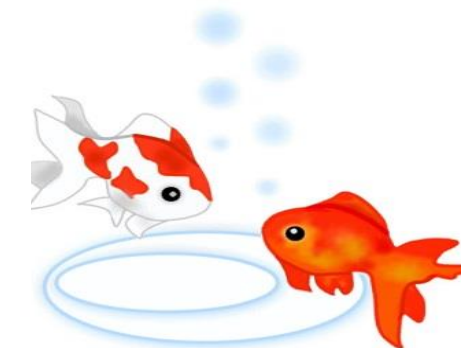


ひまわり NEWS



No.71 教育委員会だより

こんにちは！暑い日が続いたり、雨の日が続いたり…なんだか落ち着かない今年の夏ですね。体調を崩したりはしていませんか？それでは、前半に行った院内研修をご紹介します。

急変に強くなろう

「急変に強くなろう」を目標にした、年間を通して複数回の研修を組み合わせで開催するコースです。8月5日は、その第1回目。自己紹介・「救急看護とは」の講義のあと、BLSの復習をしました。研修終了後には、「ICLSを取得できるようがんばる」「実際の挿管見学をしたい」といった前向きな意見が聞かれました。次回は9月30日に行います。

受講者からの声

- *急変時の対応を学び、しっかり対応ができるようになりたい。
- *急変患者・CPA患者にあたった際に速やかに実行できるようになりたい。
- *OPE室での挿管見学をしたい。
- *救急外来でのCPA患者の実際の対応を見学したい。

救急看護

担当 外来:森田 手術室:戸辺 4東:原田 4西:遠藤



Keep it up!



セルフケア



なんとなく体の調子が悪い。でも、薬を飲んだり、病院に行ったりするほどでもない——。そんなとき、みなさんはどうしていますか？温かくて、消化のよいもの食べたり、ゆっくりと湯船につかったり、夜更かししないで早めに寝たり……。

このように「自分のできる範囲で自分の面倒を見る」ことが「セルフケア」の基本です。セルフケアは、体はもちろん、こころが疲れたときも、とても有効な手段。しかも早めにやると、とても効果があります。当日は11名が参加してくださりありがとうございました。『自分自身のこころと体に目を向けること』を日頃から大切にしていきたいですね。何事も『早めの対処』を。。。

担当：大久保

みんなのメンタルヘルス 厚労省ホームページより一部引用

ドレーン管理の基礎

ドレーン管理についての研修を教育委員会で行うのは、初めてでした。昨年、ドレーンに関するCLIP報告があり、この研修を企画しました。新人看護師からリーダー看護師まで幅広い層の看護師が参加してくれました。

所属部署によっては、ドレーン管理に関わるのが少ないですが、色々な種類のドレーンとその特徴が理解できたとの意見をいただきました。実際のドレーンを触りながらの研修で、吸引圧の掛け方や破棄の方法を参加者それぞれが確認できていました。

担当：4西病棟 遠藤、3東病棟 西井

8月10日開催 12名参加



編集後記：このほかにも、人工呼吸器（基礎編）や輸液・シリンジポンプの学習会、新人指導者フォローアップなどが行われています。講師にご協力いただきました皆さまありがとうございました。これからも実践に即した研修を開催していきたいと思っております。
教育委員会：大久保久美子、島山綾子、森田智愛、田中広美、野原一紗、西井由紀子、遠藤智美、原田祥子、戸辺嘉美、肥塚直美

教育委員会 2017年8月15日作成